

山下栞菜「最後は自分が好きなように」

1. はじめに

私は既修3年次特別選抜を経てローに入学しました。学部3年間+ロー2年間の合計5年の勉強で、浪人もせず司法試験に受かるというのは、当時まだどちらかといえば「すごいこと」扱いでした。しかし、法曹コースの整備や在学受験制度の導入により、5年合格が普通になりつつあります。私は大した人間ではありませんが、短い年数で合格を勝ち取るために有意義なことを、せめて5年合格の先輩らしく書いてみようと思います。

2. 得意に頼らず苦手を避けず

誰しも得意と苦手があり、それ自体は悪いことではありません。しかし、「この科目は得意だから得点源にしよう」「そしてこっちの苦手な科目で点が取れなくても補おう」と戦略を立てるのは危険です。

司法試験では毎年1科目くらい難化・傾向変化といった事象が起きます。そうなったら、問題作成者に呪いの念を送りつつ、書けることを並べるしかありません。得意科目でも思うように得点源とできない場合があります。そしてそれに頼り切っていると、終了後の精神状態にも極めて悪影響が及びます。本番、憲法終了後にむせび泣いていたわたしの後列の人は、翌日姿を見せませんでした。

得意は得意でいいですが、それに頼って苦手を補わないようにしましょう。

3. 期末試験を大切に

修了後に2年生向けの期末試験対策会を担当しましたが、一部の後輩から「司法試験の勉強をしたいのにローの勉強に時間をとられて無駄に思える」との声がありました。

これは極めて重大な間違いです。阪大ローの期末試験は多くが司法試験に直結しており、定期的に、論点に気付けるか、規範を理解しているか、あてはめを適切に展開できるか、相対評価で実力を確認できます。B+以上を取れていればその科目は司法試験に向けて好調に進めているといえるでしょう。期末試験ごとに実力を少しずつ高めて挑み、結果に基づく調整もして、最終的には司法試験に対応できる実力が身についていきます。私自身、一度Cを取ってしまった科目では次の学期に必ずA以上を取ることで苦手を克服しました。

長期目標を達成するには、短期目標の達成の積み重ねが大切です。最終的に司法試験に合格するため、まずは期末試験でB+以上の良い結果を得ることから始めてみましょう。

4. 過去問に勝る問題集はなし

いろんな問題集に手を付けるのは愚策です。時間は限られているので、中途半端に終わらずタイムオーバーになりかねません。やるならひとつかふたつに絞りましょう。

では、どの問題集を選ぶべきか。当然、過去問です。何とんでも無料な上に、解説(出

題趣旨)と合格に必要な基準(採点実感)までついてくる。さらには本番の問題に内容・形式共に一番近い。過去出たことない論点の本番で出るとはまれで、もしあってもほぼ誰も得点できず大して差はつきません。改正があったばかりの民法以外は、過去問だけ 7 年程度やっておけば演習として十分です(商法は平成 19 年の問題が新株発行の論点を非常によく抑えることができるので、これもプラスで)。

注意点として、基本的には本番形式(時間を計る+手書き)でやりましょう。パソコン起案は早いですが、手書きに慣れていないと本番は対応できません。落ちます。また、参照物を見ながら時間無制限で解くのは、初めて過去問に取り組んでみるときだけにしましょう。

一度 5 日間作って、完全に本番通りのスケジュールで 1 年分の過去問を解くのが非常にいい経験になります。いかに本番が体力勝負か身をもって知っておきましょう。民訴を解き終えた後は手首が地獄のように痛みます。1 日目の夜に湿布を張って寝ると少しマシです。

いきなり司法試験を解いてみるのが怖いなら、期末試験の過去問もいいと思います。特に行政救済法(旧行政法応用 2)は出版社泣かせの良問揃いです。刑訴法については刑訴応用よりも刑事法律文書作成の方が形式的に本番に近いので、こちらがいいと思います。

5. フツ軽であれ、でも休息も大事

勉強を純粋に楽しめるステージにいる人は稀です。多くの人は、ロー生活のどこかで心を病んでしまいます。適度に勉強以外の事にも精を出しましょう。

時々就活に目を向けてみれば、早めに動くことで単純に良いことが多いし、いいごはんを食べられることがあります。英語などの勉強も武器になります。

アルバイトするときは、法律に関係ない仕事もやってみましょう。いろいろな人と会い、いろいろな労働環境を知る機会は貴重です。ただし勉強に支障がないように！生活のため夜勤の工場アルバイトをしていた時期、徹夜明けで仕事から 1 限に直行したら小テストで 0 点を取ってしまい、先生にもものすごい目で見られた私からのお願いです。

シンプルに休息を取ることも重要です。恋人や友人と遊んだり、学年対抗で野球をやったり、推しを推したり、引きこもってゲームをしたり、何でもいいです。お酒はほどほどに。ある程度休息を取ると、不思議と「勉強したい」という気持ちが湧いてきます。

6. 最後に

司法試験終了後、再現答案を作ろうとしたところ、頭がくらくらして何も思い出せませんでした。司法試験は心も体も容赦なく削っていく点で全ての人に平等であり、自分が劣っていると考える必要はありません。細かい勉強法は人それぞれ好みや個性に合わせて変わっていていいのだし、上述の事柄を頭に入れつつ、後は好きなようにやってみてください。

余談ですが、この後は 2 年生から全科目分送られてきた過去問答案をがんばって添削します。先輩というのは、礼儀さえ欠かなければいくらかでも便利に使いましょう。何か悩むことがあったらいつでも連絡してください。